

# 会 議 等 報 告 書

1	会議等名	糸島市地域公共交通会議（第8回）
2	開催日時	平成24年6月21日（木） 15時00分 ～ 15時40分
3	開催場所	糸島市役所 新館 402議室
4	出席者	別紙のとおり
5	協議事項	<p><b>（1）糸島市コミュニティバス利用・収支状況について（報告）</b></p> <p>事務局より、平成23・24年度路線バス、ふくよし号、糸島周遊バスの利用者数、収支状況等を報告。（別紙資料P3～P9参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ H23年度は、新設した九大線高田経由が不調。利用者全体としては増加傾向。</li> <li>・ H24年度になって、九大線高田経由・波多江経由が好調な伸びを示している。</li> </ul> <p>→ 今年度、高田経由が好調な理由は何か。</p> <p>→ 昨年は、九大学研都市駅に過剰にアパート・マンションが建設され、市内居住者が減少したが、今年度その状況が落ち着き、糸島市内の家賃が安いこと等により、市内に居住する学生が増加したものと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ H23年度は半年間で決算。約1,400万円の市補助を支出。</li> </ul> <p>→ 昨年度と比較して、コミュニティバスの赤字はいくら増加したのか。</p> <p>→ H22年度の赤字額が3,700万円、H23年度赤字額が4,800万円（年間）であるので、約1千万円の赤字増となっている。燃料費高騰と九大線高田経由の不調が原因。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 糸島周遊バスについて、今年度から本格運行を開始したが、不調である。</li> </ul> <p>→ 今後、バスのPRや店舗とのタイアップによる利用促進を実施していく。</p> <p><b>（2）糸島市地域交通計画に基づく今後の公共交通施策について</b></p> <p>事務局より、交通計画に基づいた事業実績報告及び今後の計画について報告。（別紙資料P10参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ⑤渡船のダイヤ改正は今年度実施するのか。事前に改正時刻を教えて貰えれば、バス時刻も調整できるかもしれない。</li> </ul> <p>→ 今年度10月を目標に改正予定である。渡船時刻をほぼバス時刻に合わせているが、</p>
5	協議事項	<p>運輸局との協議で改正時刻が固まってきたら、連絡させていただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理者制度導入とはどういうことか。</li> </ul> <p>→ 検討段階であるが、バスを公共施設と捉えれば、指定管理者とすることができ、事業者選定にあっては競争力を働かせられる。そうしなければ、道路運送法第78条での運送になると思う。静岡県磐田市などで、バスの指定管理者を実施している。</p>
6	決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 糸島市地域交通計画に基づくバス・渡船の事業計画について、承認。事業実施に当たっては、糸島市地域公共交通会議に諮るものとする。</li> </ul>
7	懸案事項	特になし。

# 糸島市地域公共交通会議【第8回】

H24.6.21(木) 15:00~

糸島市役所 新館 402会議室

● 委員出欠 別紙「委員名簿」(P2)参照

1 会長あいさつ

2 経過報告

3 協 議

(1) 糸島市コミュニティバス等利用・収支状況について(報告) (P3~9)

※ 別紙資料参照

【事務局説明】

(2) 糸島市地域交通計画に基づく今後の公共交通施策について (P10)

※ 別紙資料参照

【事務局説明】

(3) その他

■次回会議; 月 日( ) : ~  
(予定協議案件)



# 糸島市地域公共交通会議 委員名簿 (敬称略)

平成24年6月21日開催

	氏名	所属・役職	規程 第3条	出欠、代理出席
会長	柴田 潔	糸島市 企画部長	糸島市長又はその指名する者	○
副会長	柚木 利道	糸島市行政区長会 会長	市民代表	○
委員	今泉 健吾	昭和自動車株式会社 自動車事業本部 副部長	一般乗合旅客自動車運送事業者	代理出席: 小島 裕之課長
委員	森田 秀規	福岡昭和タクシー株式会社 福岡西部事業部 統括課長	一般旅客自動車運送事業者	○
委員	宮寄 憲一	一般社団法人福岡市タクシー協会 専務理事	旅客自動車運送事業者の団体	○
委員	西 幸男	糸島市老人クラブ連合会 会長	市民代表	代理出席: 檜崎千恵子副会長
委員	牛嶋 賢一	九州運輸局 福岡運輸支局長	九州運輸局長又はその指名する者	代理出席: 首席運輸企画専門官 江上 康男
委員	樋口 七三	福岡昭和タクシー株式会社 バス乗務員代表	一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体	○
委員	大枝 良直	九州大学大学院 工学研究院 環境都市部門 准教授	その他市長が必要と認める者	○
委員	寺山 治	福岡県 企画・地域振興部 広域地域振興課 地域交通係長	〃	○
委員	永江 弘志	福岡県警察本部 糸島警察署 交通課長	〃	欠
委員	井本 真樹男	福岡国道事務所 福岡西維持出張所長	〃	○
委員	廣川 智之	福岡県福岡県土整備事務所 前原支所 庶務課 副長	〃	欠
委員	井上 祐二	糸島市 建設都市部 建設課長	〃	○

<任期> 平成24年2月1日～平成26年1月31日

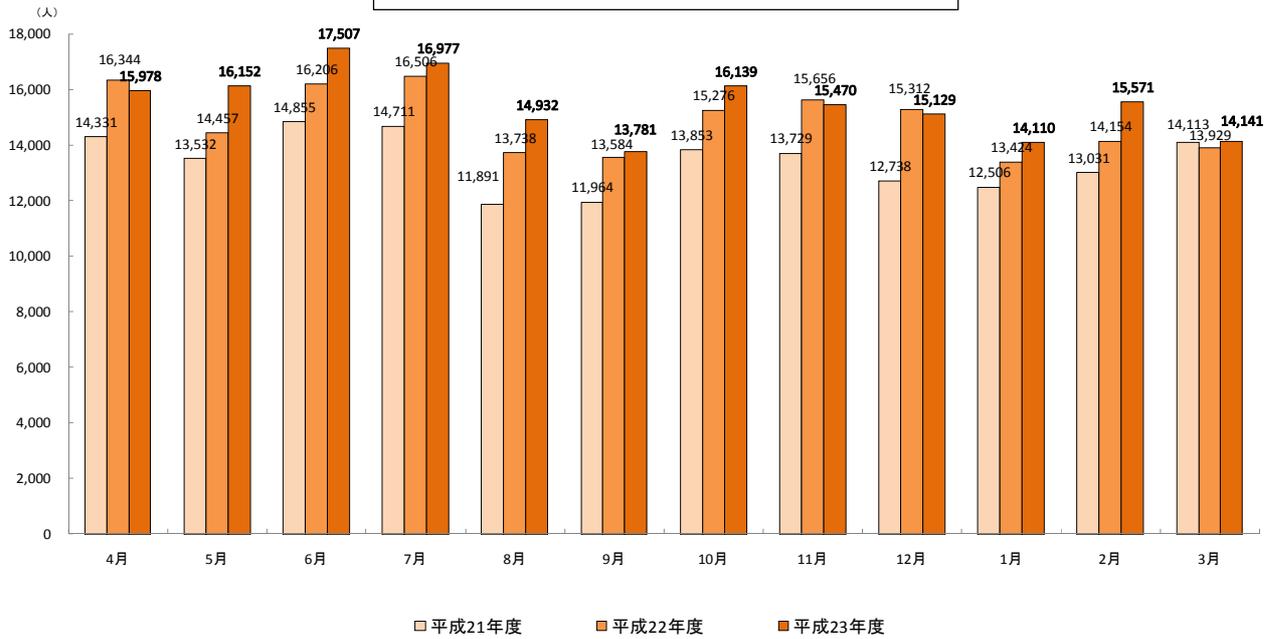
<オブザーバー>

木村 直人	国土交通省 九州運輸局 交通企画課	公共交通支援担当
-------	----------------------	----------

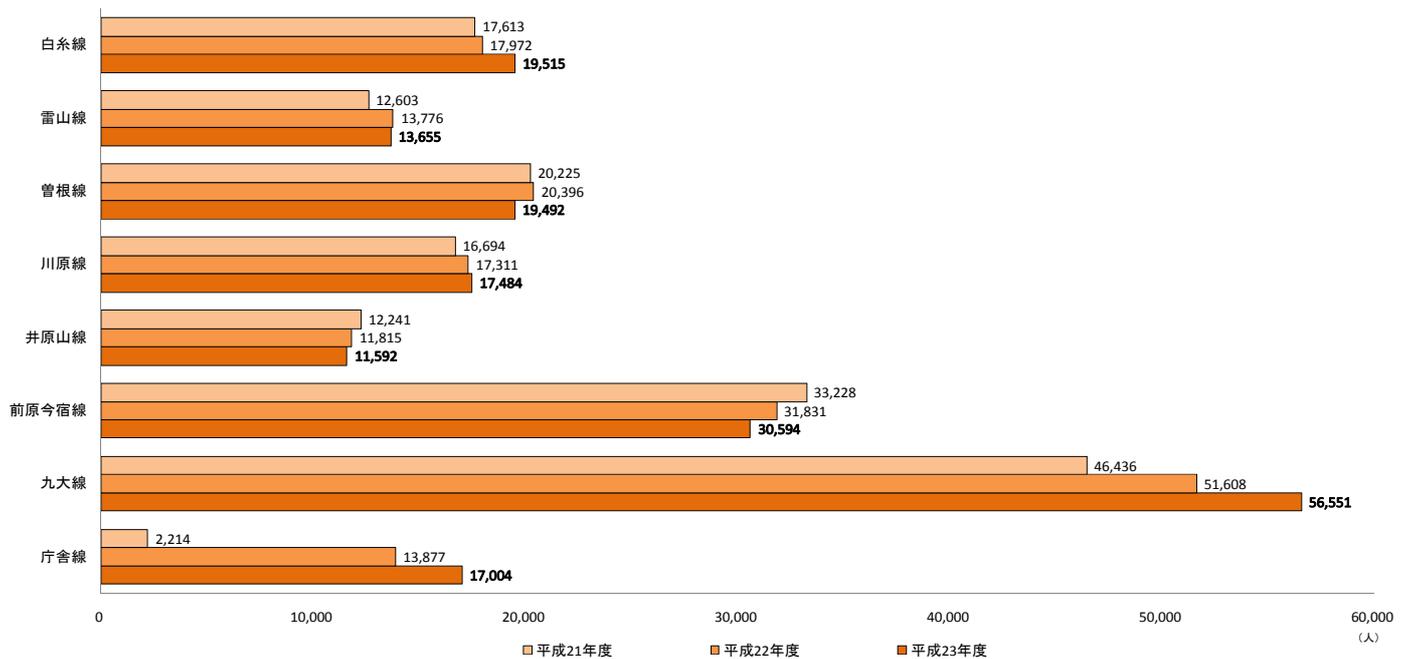
<事務局>

末松 隆明 糸島市 企画部 地域振興課長  
高田 直一 糸島市 企画部 地域振興課 課長補佐兼公共交通係長  
大西 将夫 糸島市 企画部 地域振興課 主幹

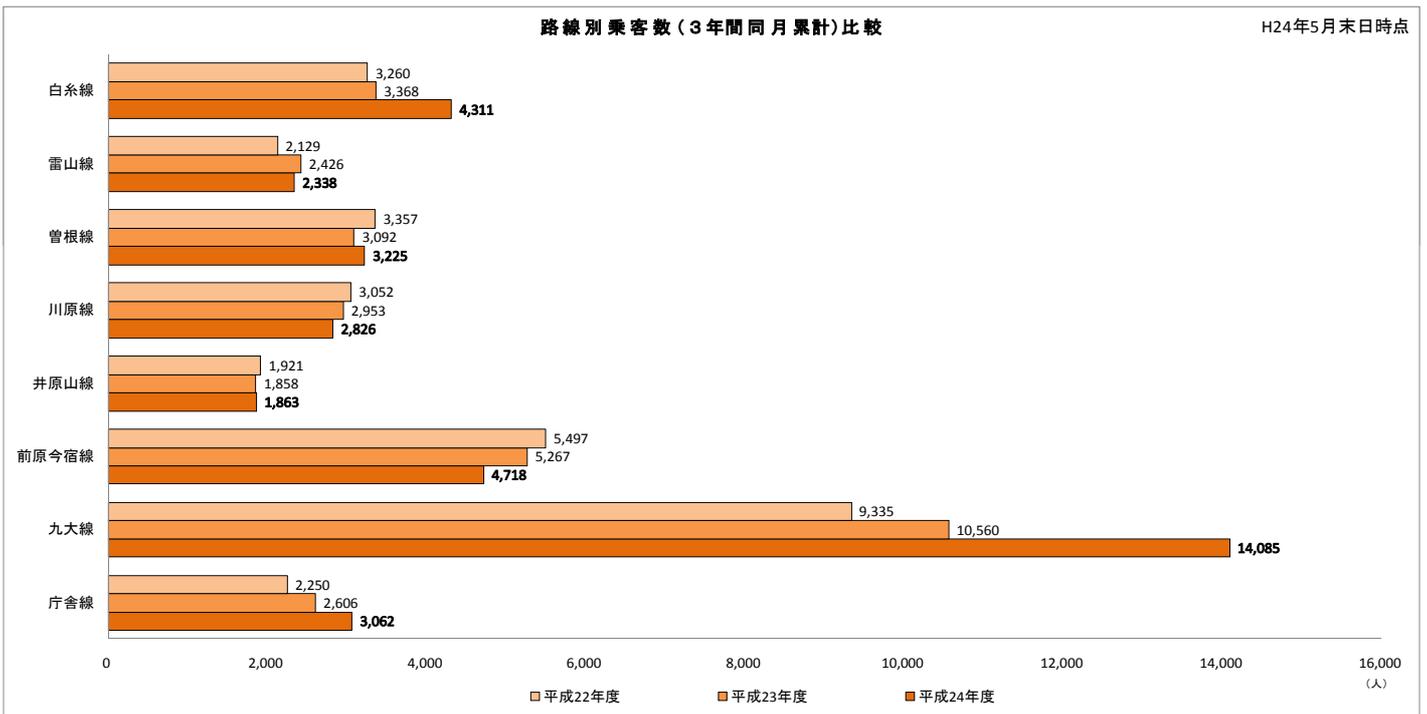
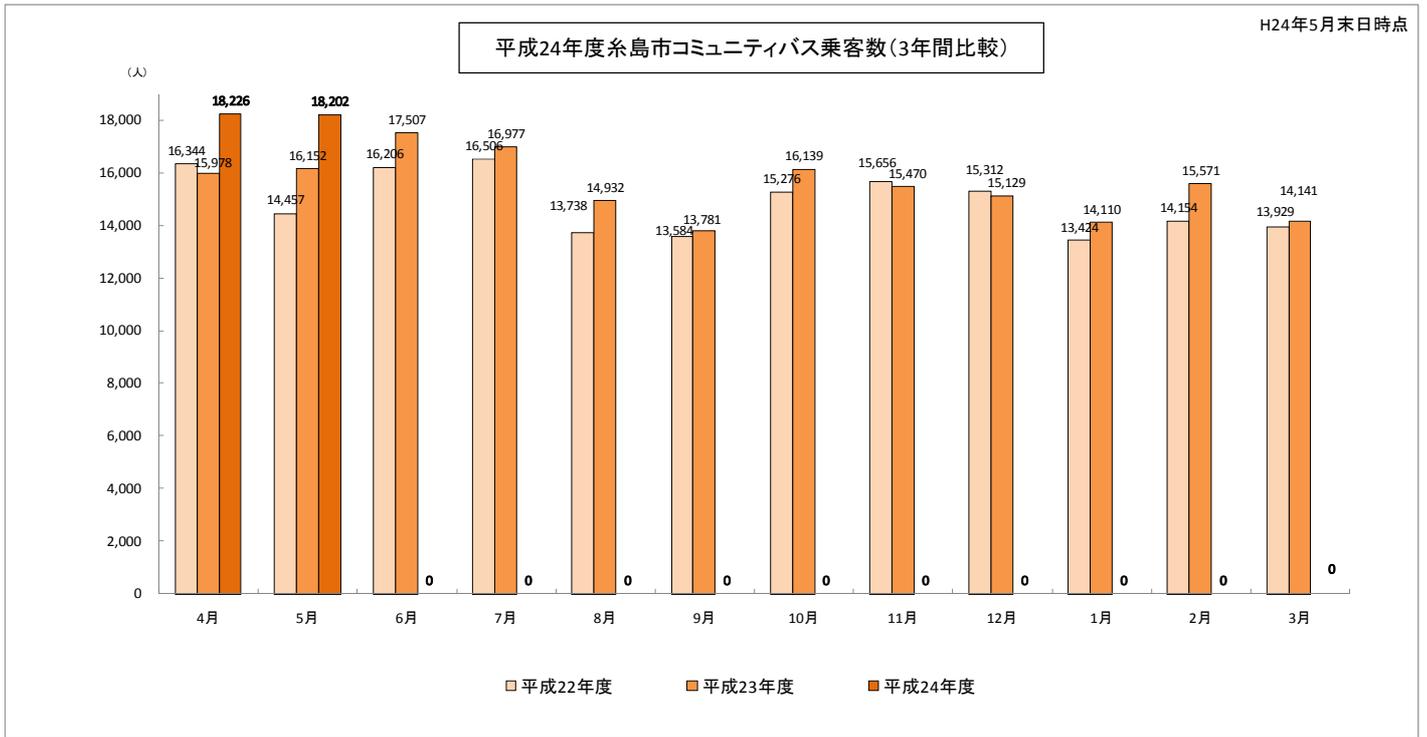
平成23年度糸島市コミュニティバス乗客数(3年間比較)



路線別乗客数(3年間同月累計)比較



乗客数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
平成23年度	15,978	16,152	17,507	16,977	14,932	13,781	16,139	15,470	15,129	14,110	15,571	14,141	185,887	4.1%
平成22年度	16,344	14,457	16,206	16,506	13,738	13,584	15,276	15,656	15,312	13,424	14,154	13,929	178,586	10.7%
平成21年度	14,331	13,532	14,855	14,711	11,891	11,964	13,853	13,729	12,738	12,506	13,031	14,113	161,254	12.4%
増減(H23-H22)	▲ 366	1,695	1,301	471	1,194	197	863	▲ 186	▲ 183	686	1,417	212	7,301	-
増減(H22-H21)	2,013	925	1,351	1,795	1,847	1,620	1,423	1,927	2,574	918	1,123	▲ 184	17,332	-
増減(H21-H20)	1,815	1,308	2,156	1,605	▲ 31	117	1,114	2,377	1,125	1,916	1,933	2,355	17,790	-

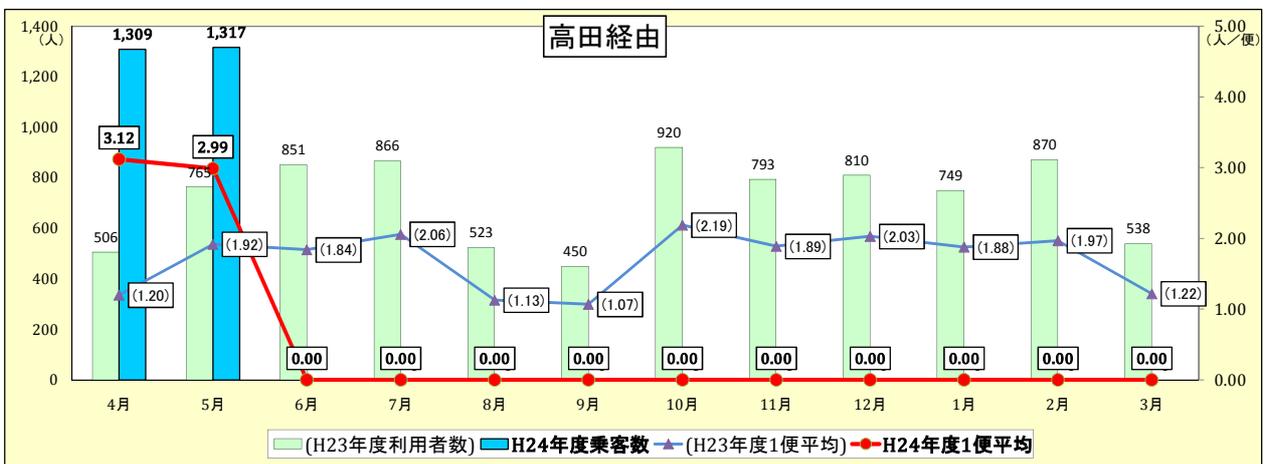
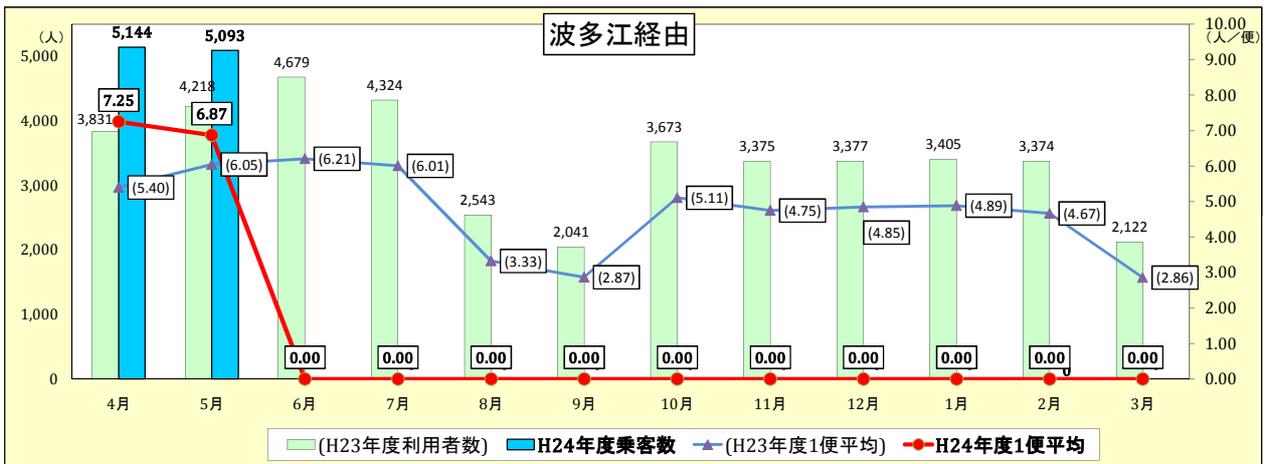
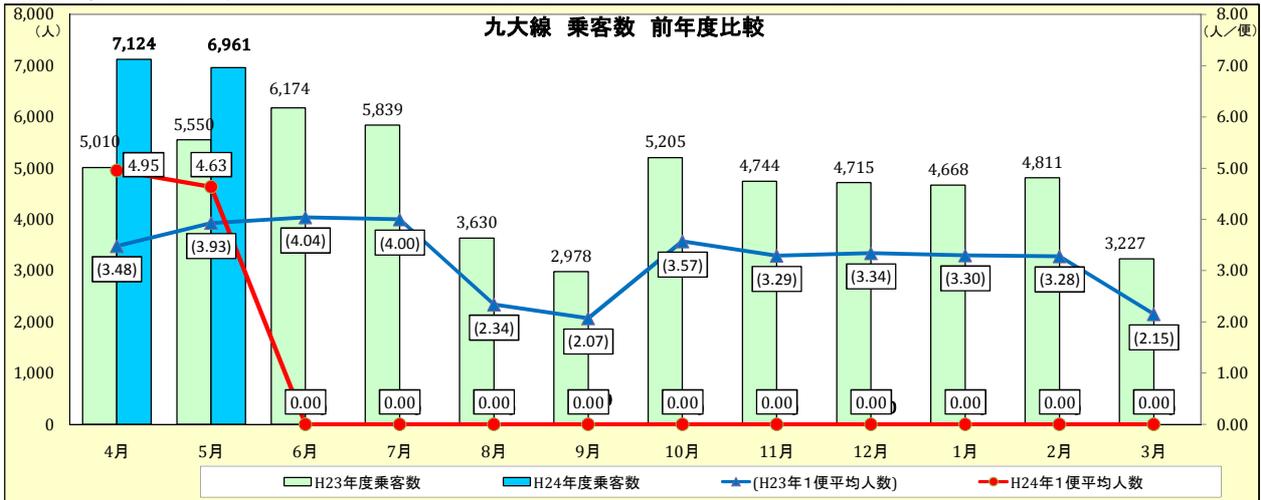


乗客数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比見込
平成24年度	18,226	18,202											36,428	13.4%
平成23年度	15,978	16,152	17,507	16,977	14,932	13,781	16,139	15,470	15,129	14,110	15,571	14,141	185,887	4.1%
平成22年度	16,344	14,457	16,206	16,506	13,738	13,584	15,276	15,656	15,312	13,424	14,154	13,929	178,586	10.7%
増減(H24-H23)	2,248	2,050											4,298	-
増減(H23-H22)	▲ 366	1,695	1,301	471	1,194	197	863	▲ 186	▲ 183	686	1,417	212	7,301	-
増減(H22-H21)	2,013	925	1,351	1,795	1,847	1,620	1,423	1,927	2,574	918	1,123	▲ 184	17,332	-

# 九大線バス乗車実績

平日運行本数 63

土日運行本数 18



平成23年度 バス運行に係る市補助額

種別	路線名	走行距離 km	収入 円	経費 円	損益 円	国庫・県費 補助金 (実績・見込) 円	市負担額 円
コミュニティバス	白糸線	36,482.3	2,082,432	4,920,714	▲ 2,838,282	1,326,000	1,512,282
	雷山線	33,323.5	1,477,571	4,494,657	▲ 3,017,086	1,211,000	1,806,086
	曾根線有田経由	10,683.0	677,825	1,440,918	▲ 763,093	388,000	375,093
	曾根線波多江経由	14,547.5	1,116,574	1,962,161	▲ 845,587	529,000	316,587
	井原山線	33,296.0	1,578,734	4,490,947	▲ 2,912,213	1,211,000	1,701,213
	川原線	33,797.0	1,976,617	4,558,522	▲ 2,581,905	1,229,000	1,352,905
	前原今宿線	51,944.4	3,379,230	7,006,234	▲ 3,627,004	1,889,000	1,738,004
	九大線波多江経由	40,207.4	3,182,358	5,423,152	▲ 2,240,794	644,000	1,596,794
	九大線泊・油比経由	14,983.5	914,273	2,020,967	▲ 1,106,694	414,000	692,694
	庁舎線	24,314.4	987,318	3,279,514	▲ 2,292,196	884,000	1,408,196
	臨時運行（白糸酒造）	179.2	104,974	24,171	80,803		▲ 80,803
	<b>フィーダー系統合計</b>	<b>293,758.2</b>	<b>17,477,906</b>	<b>39,621,957</b>	<b>▲ 22,144,051</b>	<b>9,725,000</b>	<b>12,419,051</b>
	高田線	19,269.6	1,113,471	2,599,072	▲ 1,485,601	118,000	1,485,601
	<b>合計（H23.4～9月）</b>	<b>313,027.8</b>	<b>18,591,377</b>	<b>42,221,029</b>	<b>▲ 23,629,652</b>	<b>9,843,000</b>	<b>13,904,000</b>
	<b>合計（H23.4～H24.3月）</b>	<b>623,070.5</b>	<b>35,861,062</b>	<b>84,414,152</b>	<b>▲ 48,553,090</b>	<b>18,917,000</b>	<b>29,636,000</b>
路線バス	芥屋線	96,579.5	14,689,554	26,893,526	▲ 12,203,972	3,268,000	7,529,000
	船越線	73,027.8	12,367,923	20,335,321	▲ 7,967,398	2,823,000	5,144,000
	野北線	79,081.0	12,347,737	22,020,895	▲ 9,673,158	2,779,000	6,894,000
	<b>合計（H22.10～H23.9月）</b>	<b>248,688.3</b>	<b>39,405,214</b>	<b>69,249,742</b>	<b>▲ 29,844,528</b>	<b>8,870,000</b>	<b>19,567,000</b>
<b>全路線合計</b>	<b>871,758.8</b>	<b>75,266,276</b>	<b>153,663,894</b>	<b>▲ 78,397,618</b>	<b>27,787,000</b>	<b>49,203,000</b>	

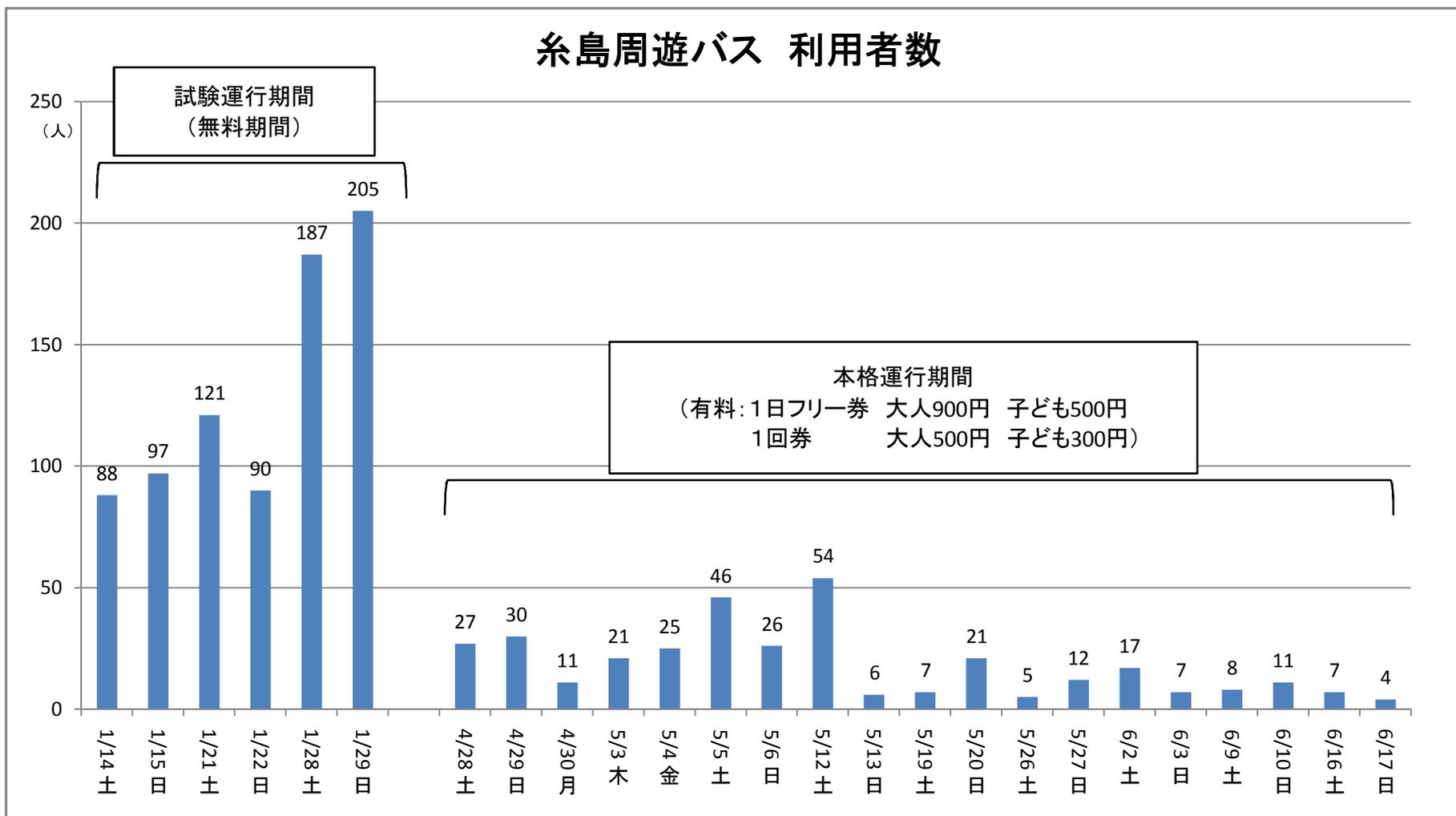
※平成23年度コミュニティバスの補助算定期間は、国庫補助の新制度に合わせるため、H23.4.1～H23.9.30の半年間とした。  
 （平成24年度は、H23.10.1～H24.9.30の1年間の補助算定期間となる。）





(参考資料)

## 糸島周遊バス 利用者数



## ◆バス・渡船の事業計画案（糸島市地域交通計画）

バス事業	事業内容	実施年度				
		23	24	25	26	27
①九大線高田経由	周船寺駅～産の宮～九州大学路線の新設 (車両購入1台)	済				
②愛称募集	コミュニティバスの愛称募集	済				
③自主運行バス	地域・NPOなどによる交通不便地域の縮減 (年度ごとに運行地域を1地域増)	済	継続	継続		
④車両買替(大型化)	老朽化による車両購入時に車両を大型化	1台 済	2台	1台	1台	1台
⑤渡船ダイヤ見直し	島民及び観光客の利便性向上のためダイヤの 見直しを検討	検討	実施			
⑥市街地循環線	市街地循環線(ぐるりんバス)の新設 (車両購入2台)	検討	実施			
⑦全路線再構築	市街地循環線への各線の接続、ダイヤ改正	検討	実施			
⑧運賃制度見直し	コミュニティバスの運賃を一律200円へ定額 化(庁舎線も同様)、乗継割引の導入検討	検討	実施			
⑨指定管理者制度の導 入の調査・研究	コミュニティバスの指定管理者制度導入(市 営バス化)	検討	実施			
⑩志摩路線のコミュニティーバ ス化の調査・研究	志摩路線(芥屋線・船越線・野北線)のコミ ュニティーバス化と定額制導入検討	検討	実施			
⑪九大線の民営化の調 査・研究	九大線の路線バス化(独立採算制)検討	検討	実施			
⑫ICカード導入の調査 ・検討	支払いの電子化・割引の自動化	検討		実施		
⑬庁舎線の生活路線化	生活路線へ切り替え	検討			実施	
⑭新船建造の検討	老朽化による造船検討	研究		調査	実施	

※計画については、随時見直すこととしており、市の財政・国県補助金の状況や新たな市民ニーズ、検討や研究結果によって、変更になることがある。

はまぼう号ラッピングバス写真 (九大線・川原線配車)

